

下水道資源を農作物の栽培等に活用する取組「BISTRO下水道」 別紙

- リンを輸入に頼る我が国では、安定的なリン資源の確保が懸念。一方、下水処理場には農業等に有用とされているリン、窒素、熱、CO2等の資源が集積
- 下水道法の一部改正(H27.7)により、下水道汚泥が燃料・肥料として再生利用されるように努めることを明確化し、放流先のニーズに合わせた水処理を可能に
- 下水道資源の安全性の理解促進、BISTRO下水道の全国展開を推進

下水道資源の農業利用 ～美味しい食材のサポーター～

①処理水
栄養塩を含んだ処理水を利用した
水稲や海苔養殖※等



※海苔養殖等に配慮し、成長期の冬に
栄養塩を多く供給

②肥料
下水汚泥を発酵して肥料化



③熱・CO2
CO2をハウス内での栽培に活用



地方創生の起爆剤(佐賀の例)

佐賀うまいものフェア(H29.1.20~1.22)

BISTRO下水道in佐賀と銘打って
3年連続で出展

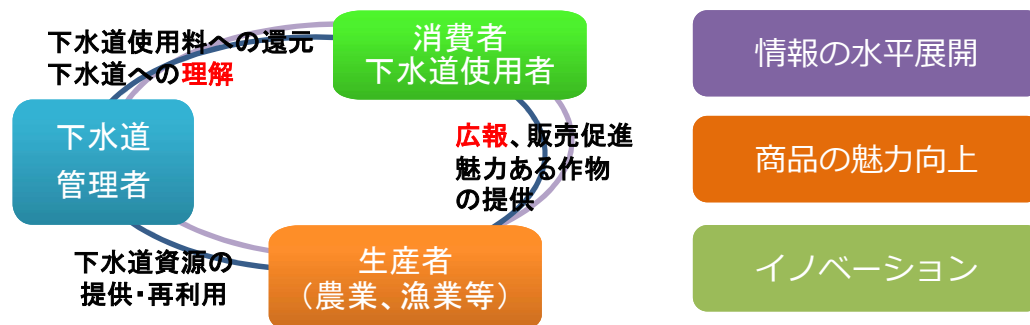
◎販売作物

米、白菜、大根、キャベツ、トマト、ミズナ、レンコン、ニンジン、ホウレンソウ、イチゴ、ミカン、馬鈴薯、トルコギキョウ(花)、ユリ、海苔など



好事例の発掘と水平展開～BISTRO下水道推進戦略チーム～

下水道資源(処理水、汚泥)の有効利用を既に行っている**事例等の情報の水平展開、商品の広報・魅力向上、イノベーション等**により下水道資源の更なる有効利用を促進。



下水道の資源の更なる有効利用を促進し、BISTRO下水道を全国展開することにより、地域を活性化